

とうきょう 自治体の仲間

2009.11.16
VOL.234

発行所
東京自治体労働組合総連合
〒170-0005
豊島区南大塚2-33-10東京労働会館4階
TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957
発行人 荻原 淳
定価1部10円
(ただし組合員の購読料は組合費に含まれています。-1人に1部配布)
本紙は再生紙(古紙75%以上)を使用しています

http://www.tokyo-jchiroren.org/ E-mail honbu@tokyo-jchiroren.org

闘いがきりひらいた情勢のもと 真に住民本位の自治体をつくらう



東京自治労連第21回定期大会開かれる



東京自治労連は10月24日、文京区にある全労連会館ホールにおいて、第21回定期大会を開催しました。大会は矢吹副委員長が司会を務められました。冒頭、大会の議事運営に当たる大会議長の選任が行われ、自治労連都庁職衛生局支部の高柳京子代議員、文京区職労の遠藤弘幸代議員が選出され、自治労連本部代表として、先の第31回定期大会で選任された猿橋書記長が、自治労連本部定期大会開催地として奮闘した東京自治労連に対する感謝の言葉を述べ、自治労連運動の要としての東京の重要な役割など纏々述べるとともに、

大会の盛況を祈念してあいさつしました。東京地評を代表して高畑いさつ。三多摩共同する会事務局長が、東京自治研究会や公契約問題などでお世話になった東京土建からは大内副委員長が、日本共産党都議団を代表して古館さつを行いました。

切実な要求実現への道を切り開いたことに確信を持ち、具体的な前進を目指す闘いを強めよう

運動方針等各議案圧倒的多数で可決承認

荻原委員長はまた、昨年の定期大会で確認された運動方針に沿って意思統一を深め、拡大執行委員会を当面する重点課題を提起し、

採決に付された各議案は、執行部を代表して吉川書記長が答弁とまとめを行いました(要旨3画)。も、圧倒的多数で可決承認

10月22日から24日、高知市の県立体育館で、全国から12チームが参加して、第21回自治労連全国女子バレーボール大会が開催されました。

23日、自治労連特区連チームは、組み合わせ抽選でCブロックの茨城県代表「筑西市チーム」、愛媛県代表「今治市チーム」との予選を闘いました。結果は2チームからストリート勝ちし予選突破。勝ち抜いた自治労連特区連チーム、千葉市原市チーム、岡山市チーム、名古屋市職チームの4チームが

全国女子バレーボール大会

自治労連特区連チーム 初出場・初優勝の快挙



23日、自治労連特区連チームは、組み合わせ抽選でCブロックの茨城県代表「筑西市チーム」、愛媛県代表「今治市チーム」との予選を闘いました。結果は2チームからストリート勝ちし予選突破。勝ち抜いた自治労連特区連チーム、千葉市原市チーム、岡山市チーム、名古屋市職チームの4チームが

野風俗

1967年から76年にかけて、私は民間の争議団の一員だった。

労働組合の再統一、不当差別反対、労働条件の向上などを目指して闘ってきた。仕事で差別され、賃金でも差別されて、気持ちが腐るときもあったが、そんなとき温かい手を差し伸べてくれたのが働く仲間であり争議団の仲間だった。経済的には貧しかったけれど、充実した青春時代を過ごすことができた。そんな当時のことを思い出させてくれたのが、先日見た渡辺謙主演の映画「沈まぬ太陽」である。国民航空(日本航空がモデル)の争議団の争議団長(渡辺謙)は、組合員の生活と権利を守るために先頭に立って闘い、勝利をおさめた直後、恩地を嫌った国民航空資本は強引にカラチ(パキスタン)へ異動させる。卑劣なことをする。家族の哀しみが涙を誘う。そんなある日、恩地の弱みにつけて、自分の非を認めて一筆書けば日本に戻す甘言で釣ろうとするが、「働き闘う仲間を裏切れない」と断固拒否する。そんな恩地を日本に引き戻したのが、あの520人の命を奪った御巢鷹山の旅客機墜落事故。恩地の、体力の限界まで死力を尽くして被害者のために働く姿は、感動的である。久方ぶりに私は良心的な映画に酔った。

第21回東京自治労連定期大会での 代議員の発言（要旨）順不同

今定期大会における大会代議員の発言は、各単組での生き生きとした活動が具体的な言葉で語られ、今後の取り組みに反映できる旺盛な討論が活発に行われました。各代議員の発言を紹介します。（紙幅の制約上、編集部が責任で編集させていただきました。ご了承ください。）

●民間委託攻撃に市民・保護者とともに運動を進める
ト論を主張。保護者とともに、公立保育園の良さを再確認する作業や、意見書提出などの行動を起こして、水源開発をやめ、料金値下げで都民に還元するよう、要求をしている。



●多摩市職では、夏祭り、ゴルフ大会、新島・式根島への旅など全組合員を対象にした福利厚生事業により、未加入組合員・新入職員への加入の働きかけを進めている。当局は給食センター・学童保育の民間委託を強引に進めようとしており、阻止するため市民や保護者と一緒に運動を進めている。また、アエラで、職員給与と全国一と報じられ、当局はこれを使い引き下げを狙っている。これらの不当な攻撃にたいして断固た

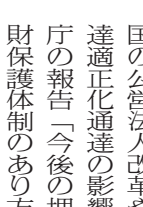
●公立保育園の良さを保護者とともに再確認
大野代議員（国立市職）



公立保育園の民間化の提案撤回後、「あり方懇談会」が発足し、一般的な議論が始まっている。当局は、コ



●八ツ場ダム問題について、石原知事は先日予定通り建設するよう求めた。都はすでに697億円を拠出し完成までにさらに1100億円を負担する予定という。しかし、ダムの本体工事になれば、多額の出費は第一に、埋蔵文化財センターの役割の明確化と組織・運営体制の強化を求め、新規職員の採用や契約職員の



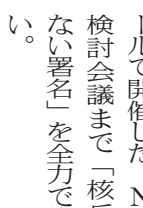
●職員採用でこそ役割發揮
西山代議員（東文労）

この2カ月前、勤勉手当問題、休暇制度・再雇用制度の見直しで当局と交渉してきた。職場討議と当局要請を繰り返し、勤勉手当の成績率は、0.5%に圧縮させた。休暇制度では、病欠90日への短縮を余儀なくされたが、メンタルヘルス対策を拡大させた。元気回



●組合員の目に見える改善を勝ちとることに力を
野間口代議員（目黒区職労）

この2カ月前、勤勉手当問題、休暇制度・再雇用制度の見直しで当局と交渉してきた。職場討議と当局要請を繰り返し、勤勉手当の成績率は、0.5%に圧縮させた。休暇制度では、病欠90日への短縮を余儀なくされたが、メンタルヘルス対策を拡大させた。元気回



●NPT再検討会議に向け「核兵器のない署名」全力で
堀内代議員（板橋区職労）

一昨年から憲法署名1人10人集めようとかんがえてきた。今年度も「平和運動推進委員会」を立ち上げ、独自作成の「憲法署名はがき付きチラシ」を7万枚新開折込みで配布。6月の土曜日に34人が1万枚ポストインクした。来週31日土曜日に1万枚のポストインクを行う。9月4日には「平和のつどい」をグリーンホールで開催した。NPT再検討会議まで「核兵器のない署名」を全力で集めたい。



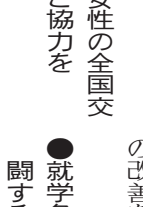
●会計監査人事問題について
石井代議員（衛生局支部）

今年4月の地方公営企業法全面適用以降、様々な課題で月1回は交渉を実施。市民病院は、以前は都立よりいい労働条件だったが、今では、1万5000円も差がついている。新卒の確保のためにも、給与の改善が大きなテーマ。



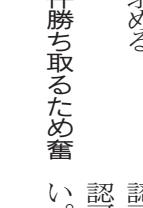
●「はたらく女性の全国交流集会」に協力を
柴田代議員（女性部・公共一般）

今年4月の地方公営企業法全面適用以降、様々な課題で月1回は交渉を実施。市民病院は、以前は都立よりいい労働条件だったが、今では、1万5000円も差がついている。新卒の確保のためにも、給与の改善が大きなテーマ。



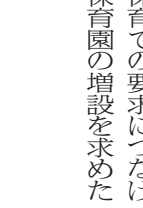
●就学条件勝ち取るため奮闘する
油原代議員（都立学校支部）

今年4月の地方公営企業法全面適用以降、様々な課題で月1回は交渉を実施。市民病院は、以前は都立よりいい労働条件だったが、今では、1万5000円も差がついている。新卒の確保のためにも、給与の改善が大きなテーマ。



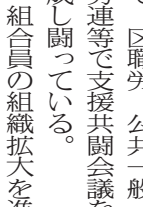
●雇用年限撤廃闘争と非正規の組織化のために
佐藤代議員（江東区職労）

今年4月の地方公営企業法全面適用以降、様々な課題で月1回は交渉を実施。市民病院は、以前は都立よりいい労働条件だったが、今では、1万5000円も差がついている。新卒の確保のためにも、給与の改善が大きなテーマ。



●花畑図書館長解雇撤回闘争を自身の問題として闘う
大滝代議員（足立区職労）

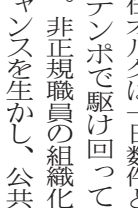
今年4月の地方公営企業法全面適用以降、様々な課題で月1回は交渉を実施。市民病院は、以前は都立よりいい労働条件だったが、今では、1万5000円も差がついている。新卒の確保のためにも、給与の改善が大きなテーマ。



●カットされた危険手当の復活を求め、手術室の危険手当を回復。放射線防護プロテクターも購入させた。また、日当直手当も回復させ、年内精算の成果も上げている。市民との取り組みも11月に懇談会を開催。来年2月の市長選も視野に入

21日、都教育委員会は竹花委員の反対で、各校の定数推薦入試募集枠の決定ができなかった。そのため、高員交通費の上限の引き上げを実現し、組合員は300人を突破した。飛躍的な組織拡大では、二重加盟と公共一般支部の奮闘だけでは不可能。公共一般の組合員を直接増やす方針が必要。現に江東の300人突破はそれが切り札だった。公共一般自治体支部に対する財政援助と、二重加盟にとまらない取り組み方針の提起をお願いする。

●来年、結成20周年を5000人達成で
菅根代議員（公共一般）



●NPT再検討会議に向け「核兵器のない署名」全力で
堀内代議員（板橋区職労）

●会計監査人事問題について
石井代議員（衛生局支部）

●「はたらく女性の全国交流集会」に協力を
柴田代議員（女性部・公共一般）

●就学条件勝ち取るため奮闘する
油原代議員（都立学校支部）

●雇用年限撤廃闘争と非正規の組織化のために
佐藤代議員（江東区職労）

●花畑図書館長解雇撤回闘争を自身の問題として闘う
大滝代議員（足立区職労）

●カットされた危険手当の復活を求め、手術室の危険手当を回復。放射線防護プロテクターも購入させた。また、日当直手当も回復させ、年内精算の成果も上げている。市民との取り組みも11月に懇談会を開催。来年2月の市長選も視野に入

21日、都教育委員会は竹花委員の反対で、各校の定数推薦入試募集枠の決定ができなかった。そのため、高員交通費の上限の引き上げを実現し、組合員は300人を突破した。飛躍的な組織拡大では、二重加盟と公共一般支部の奮闘だけでは不可能。公共一般の組合員を直接増やす方針が必要。現に江東の300人突破はそれが切り札だった。公共一般自治体支部に対する財政援助と、二重加盟にとまらない取り組み方針の提起をお願いする。

きみみん ひと



(2面からのつぎ)
●公契約を中心とした共同の取り組み
中村代議員
(世田谷区職労)

●坂本裁判が山場へ、多くの支援を
伊東代議員
(教育庁支部)



坂本裁判は11月に双方の証人尋問があり、提訴して以来、最大の山場となる。

証人尋問があり、提訴して以来、最大の山場となる。

予算人員要求を中心に、10割討議を進めている。まだ十分ではないが、生活保護の職場で課長要求を実施するなど、引き続き要求運動を職場から起こしていきたい。この間、住宅要求を取り上げ、借上げ制度を実現させた。さらに制度の充実をめざす。組合員の身近な要求で組織拡大に結びつく取り組みしていく。

●すべての単組から青年部役員を
澤田代議員
(青年部・世田谷区職労)

●職場の要求実現をめざす
市川代議員
(豊島区職労)

●労安活動を重視し、職場に見えよう
内田代議員
(江東区職労)

●共同を広げ、共感できる運動で組織強化を
長井代議員(港湾支部)

●住民とともに進めた指定管理者制度導入反対の闘い
佐々木代議員
(文京区職労)

●執行部を代表して吉川書記長が答弁とまとめを行い、多くの自治体で、能力業条例の可決という事態が起った。登記型ヘルパーでは月収3万円との回答も。未経験の仲間を組合に迎え、介護労働者自身が運動を担えるよう「介護で働く人々を応援する会」への加入と支援をお願いしたい。

●「対話と提言運動」を推進しこの1年全力をあげて奮闘する
吉川書記長が答弁とまとめ

中核となつて、06年4月に懇談会を発足させ、従業員の実態把握に取り組み、建設・介護・自治体非正規等、公共性の高い仕事でありながら生活できないことを浮き彫りにした。「公契約」を、人間らしい働き方を守り、公共の仕事をつくりあげるための「公的規制づくり」と捉えることが重要。今後、区との懇談・要請とともに、区民の中に世論としていくことが課題となる。10月には世田谷版「公契約条例」案を提起し、肉付けを進めている。「住民福祉の増進」と、命と暮らしを支えられる自治体を再構築し、住民の暮らしに「希望と安心」を取り戻したい。

●組織拡大で元気な組織をつくらう
小竹代議員
(品川区職労)

●定数削減の割合は、現業職が最も高いが、近年は行政職の削減が増加し、事務の委託や派遣の導入で「年休が使えない」「権利行使のばらつきが大きくなる」など職場は疲弊している。

●昨年的人事委員会勧告で得た勤務時間短縮で、休憩時間60分が取れない職場の改善を追求し、学校用務・保育園・福祉の直接職場で大変喜ばれている。

●東京の港湾労働者で作っている「港湾労働者協会」は、海上パレードや港湾局要請行動を行い、要求した道路改善が実現しドライバーから感謝されたりしている。

●文京区は、平成22年度より中央図書館を除く地区館に指定管理者制度を導入すると打ち出した。「文京の」と植林をしているが、これでは悪い空気を運ぶことになる。無駄遣いを追及しストップをかけていくことが重要だ。

●「業務要求水準書」に館長と館長補佐は常勤で司書の資格を有するもの、その他の従事者も5割以上が有資格者で常勤等が明記された。現在の非常勤職員についても「経験者雇用の面から雇用に配慮する」等を条件として示した。これは全国的に見ても画期的な内容で、「つくる会」の運動、図書館分会、公共一般との共同した取り組みの成果だ。

●執行部を代表して吉川書記長が答弁とまとめを行いました。答弁の冒頭、衛生局支部長が答弁から指摘のあった会計監査問題について、石井代議員から指摘のあった会計監査問題について、「会計監査の独立性を担保する上で、指摘の通り問題があった。今大会をもって改善するのでご了承願いたい」と陳謝しました。

●多くの自治体で、能力業条例の可決という事態が起った。登記型ヘルパーでは月収3万円との回答も。未経験の仲間を組合に迎え、介護労働者自身が運動を担えるよう「介護で働く人々を応援する会」への加入と支援をお願いしたい。

●「対話と提言運動」を推進しこの1年全力をあげて奮闘する
吉川書記長が答弁とまとめ

ご案内 組合員の法律相談

相談は顧問弁護士が行い、秘密は厳守します。東京自治労連の組合員は、どなたでも無料で相談できます。必ず電話で申し込んでください。

日時 12月17日(木)

13時～17時

場所 城北法律事務所

申込先 東京自治労連・企画財政部

TEL 03-5940-7951

※場所は毎回変わります。申し込みのあった方に、地図などの詳細をお知らせします。



各単組からの発言は、執行部としてたいへん励まされた。代議員発言から全労連、自治労連結成以来20年にわたる闘いが、今日の劇的な変化をつくった事を強く感じた。

【答弁・まとめの要旨】

現業闘争については、厚労省の疑義応答集をうけ、闘える武器を手に入れ、集中的に闘うとともに、新規採用が実現できるように全力を挙げて、取り組むことを意思統一した。

非正規職員については、今回の秋学期末闘争から春闘期を視野に入れて非常勤職員の雇用年限撤廃闘争など、戦略をもって取り組む。医療関係では、3小児病院の存続の問題について、小児病院の廃止撤回、存続

i!#\$%&'(: W o CE@p ½/q : Uv|} - y !N0 z "Dw& ¼K
 ≠ <= µEÓ WK*:L+ \$ ÉdSØ•l—d \$ 0 } Y OS T S ½€ ¾~
 " K Klg \$ Ç W>?@A W6789:+ \$ MNO.PQRST 7 @tuwlv| S ; Ž • - φ • " K ≠ µEÓ S ; - ÁÁ }w& S ; - ÁÁ }w&
 g 0i \$N 7 E B CDE ` F xy { 0}WS z| }KS " NI " ' • ' WÁ fÆ©²A W|]+ \$
 K0 fEO K G - H g 0idÉÈØ Uv|} 0j &µ ExØ €• w& —™@™ @tuv ^_C¹ab
 0 ir w& IJKLM ANSg uv-s• €• w& -™@™ @tuv wš) œ• lm - • ÄÉÀg• À -Æ
 ÀdŠKCE iŠ g f9d"Šd OP 8 Q K0 RS 0 }w—d T-|ejw& }-v z- |φ |i Ç 0ÉÉ NÉÉ |h/
 0iÉd- N0Ø9f N0Ø9f É•0 U " V É 9 z ° il š°d0 fu { Uv|} Ñ y%šš - Øw&É N D(Ñ i N
 ≠ E WE—d0 ØWS•& x €l ¢fd ≠™}w& { Uv|} D0Ñi ÓÓ c
 W|" \$ W|"+ \$ ≠ <= µEÓW @AB+ \$ WXQ `C@t WU(VW \$
 ,-/,%012345 C4 DEFGHIJ X4Y%SZ.
 %&! ÈS! (SI XY µØ Z φ}Ø ©²A « ¬•N -
 Ø J #) •U W [Y] #_ Ø / ¼ ~ @z \$ \$ -3 " K d
 (*+ S Sid É YK ½adba _ cK K0}w& @tuw, @t
 d& , gd - fEN 0 S dφ! e f , " i ...Ø " @t E K 0i Øw&
 / ¼0 » 1 ¼23 f dš g"l [Y] dk @tuw z† E
 N0 id 4 g K0} cK0}w& h NO s - ^ il Uv| φ+Ö A° ± »
 w&Øš—d 56 w| [Y] Z φ i < # } - y !N€ N N z3 " " K µ K 0j 9i - " id `ØK
 d 7 ØY Ç90 _ Ng0l 1k 0—d0 %šš S i š W&d d » ` ¶•Ž© L zØw&
 0 » 1 ¼&} j!- lm 4 g 0l 7 ii 3 : i, <CE Ø iig 0l Y S0l ≠ µEÓ
 8 N9KN9-&OÉ) fEOK n i& " @t É # • f Ø ; Ng ¹A K WÖÖxpw W6cdB+ \$)**+.-/0
 Ø9 9ØK , i& : ≠ XY µEÓ , f i ... %šš ii 3 9j] ° f - » g » 12 34.56 78

i!#\$%&'()**+.-/0
 12 34.56 78
 9: ; < =
 >?@A"BC
 DEF GEFHI
 JK LMFNOPQN
 RFST K 0 &
 UVWXYZ [0
] +, R^HI
 _` abcd00efg
 S abc] h
 j i k l & j
 N I B [m n o p q
 S r g h a b c d h

j i e stK]
 j i -uvk
 dwIS x dw
 labcrRF dy
 z O{9{ 5 XYz
 -|K Rj &JK
 J ~-abc Nw"•
 €|S•&
 , f RF "....
 r†† NI "%&KNS
 ŠO < CE•|RF
 Ž••" "....
 -N0!—™šš i
 >œ&K 0}w&
 ZY i φ!fR
 B#iS" B#BS
 Z©²«0-,-@`
 °±²³´µ¶G.
 ' % %Y ¹º
 » §™¼½Z±¾•?
 ÅŠAA % , ÅÅ!%
 ÅÄY! z £|B#ÅŠ
 i

| | | |
|-----|---|-------|
| 17日 | ● | 18:30 |
| 16土 | ◎ | — |
| 15金 | ● | — |
| 14木 | — | ● |
| 13水 | ● | — |
| 12火 | — | ● |
| 11月 | ◎ | — |
| 10日 | ☆ | — |
| 9土 | — | ● |
| 8金 | — | ● |

☆アフタートーク（公演終了後）、◎バックステージツアー（後援会員限定／公演終了後）

Ç#1EÉB,ÿ,
 Ç dÉÈš
 i|l|l|D Ñ:
 Ó Ò Ó Ö Ö × Ø
 IÉ ð - Ù Ù 9f |
 Ø&
 zÜÜ
 Yp ≠ µ F%
 %Y\$AA %ÃÆ¿
 %Yæææ



東京都職員共済会の
自動車共済
 加入者には
 クオカード2千円分
 プレゼント

◎営利目的ではなく組合員どうしの助け合いで成り立っています。
 ◎組合員の身分を全力でガード
 公務員であることに留意し、特に重大事故のときは組合と協力して全力で解決にあたります。
 ○JRS(日本ロードサービス)の基本サービス24時間365日無料(30分以内の軽作業)

たとえば
 ホンダフィット(2009年11月購入・型式GE8)
 補償:タイプA5 対人無制限、対物1,000万円
 搭乗者1,000万円、人身傷害5,000万円
 35歳以上限定(運転者本人配偶者限定)
 6等級(新規加入時) 50,490円
 20等級 20,190円

●東京都職員共済会●
 TEL 03-5319-7353
 お申込・お問い合わせは所属の支部・分会担当者までご連絡ください